

中干しは田植え後 30 日の生育を確認して開始！ (コシヒカリの茎数は「少ない」)

草丈、葉数は目標値「並」、茎数は「少ない」状況です。田植えが遅れたほ場も見られ、5月16～17日の強風の影響等で生育停滞しているほ場もあります。

新潟地方気象台の1か月予報(5月30日発表)では、気温は「平年並」の見込みですが期間の後半は高い予想のため、今後は茎数の急増が予想されます。田植え後 30 日の生育を確認して生育めやすに達していたら中干しを開始しましょう。生育が遅れているほ場でも田植え後 35 日までに中干しを開始しましょう。

1 5月30日現在のコシヒカリ生育状況 (拠点ほ場9地点平均、移植日の平均:5月8日)

●草丈、葉数は目標並、茎数は目標値より少ない

区分	本年値	目標比・差	前年比・差
草丈(cm)	24	100%	98%
茎数(本/m ²)	82	90%	77%
葉数(枚)	5.1	-0.2	-0.4

2 コシヒカリの管理ポイント

- (1) 60株田植えでは、1株あたり茎数15本(50株の場合は18本)程度をめやすに中干しを開始する。また、溝切りは必ず行う。
- (2) 茎数が少ないほ場は、水深2～3cmの浅水管理で分けつ促進を図る。
- (3) ワキや表層はく離、藻類が多いほ場は、夜間落水や水の更新を行う。
- (4) 田面の露出がみられ、今後雑草の多発生が心配されるほ場では、発生状況を確認し、多発生の場合は除草剤使用を検討する(農薬の総使用回数に注意)。
- (5) 昨年的高温の影響等で、水がたまりにくいほ場では、中干し程度を通常より弱く(足がぬかるむ程度の軟らかさまで)実施するなど、今後のほ場管理に支障が無いようにする。